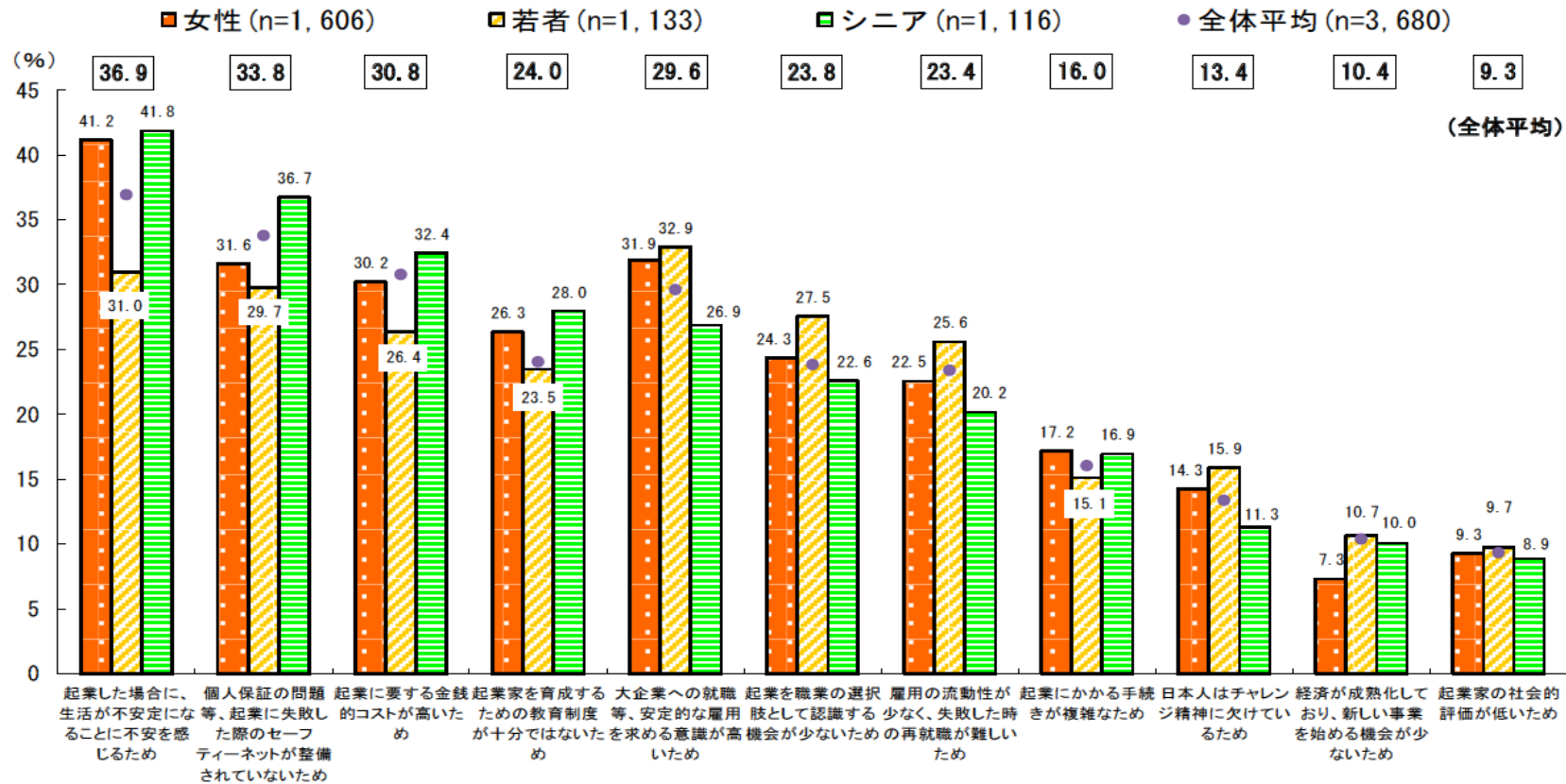


2014年度版中小企業白書(抜粋)

●日本の開業率が低い理由として考えられるもの

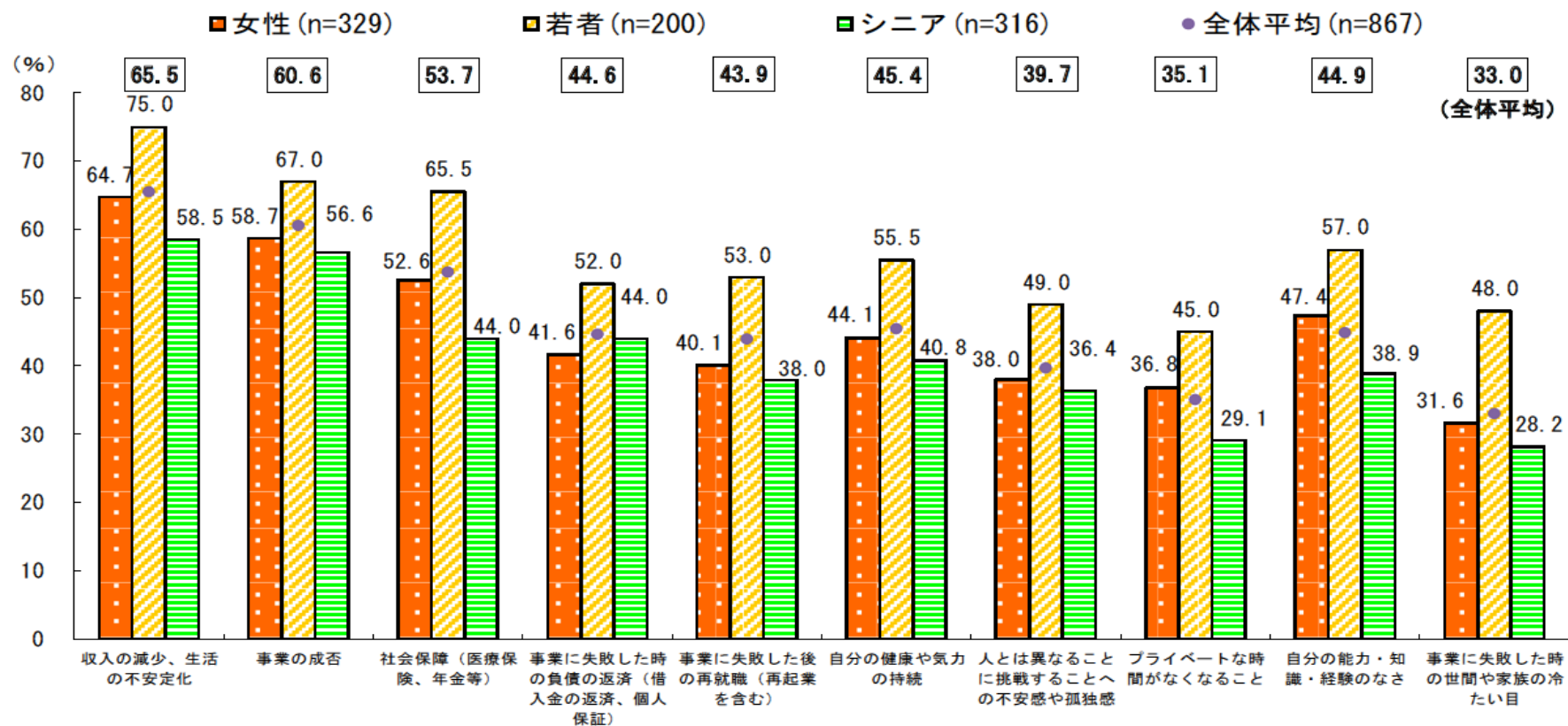
1つは「起業家育成のための教育制度が十分ではない」、「大企業等の就職等、安定的な雇用を求める意識が高い」、「起業を職業の選択肢として認識する機会が少ない」といった起業意識に関する問題、2つ目として「起業した場合に生活が不安定になることに不安を感じる」、「起業に失敗した際のセーフティーネットが整備されていない」、「失敗した時の再就職が難しい」といった起業後の生活・収入の不安定化に関する問題、3つ目として「起業に要する金銭コストが高い」、「起業に伴う手続きが煩雑」といった起業に伴うコストや手続きに関するものがあげられる。



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）
 (注) 複数回答のため、合計は100%にはならない。

●起業家が感じる不安

全体としては収入の減少、生活の不安定化、事業の成否等に不安を感じているが、若者はシニアに比べ、不安を感じる者の割合が多い。

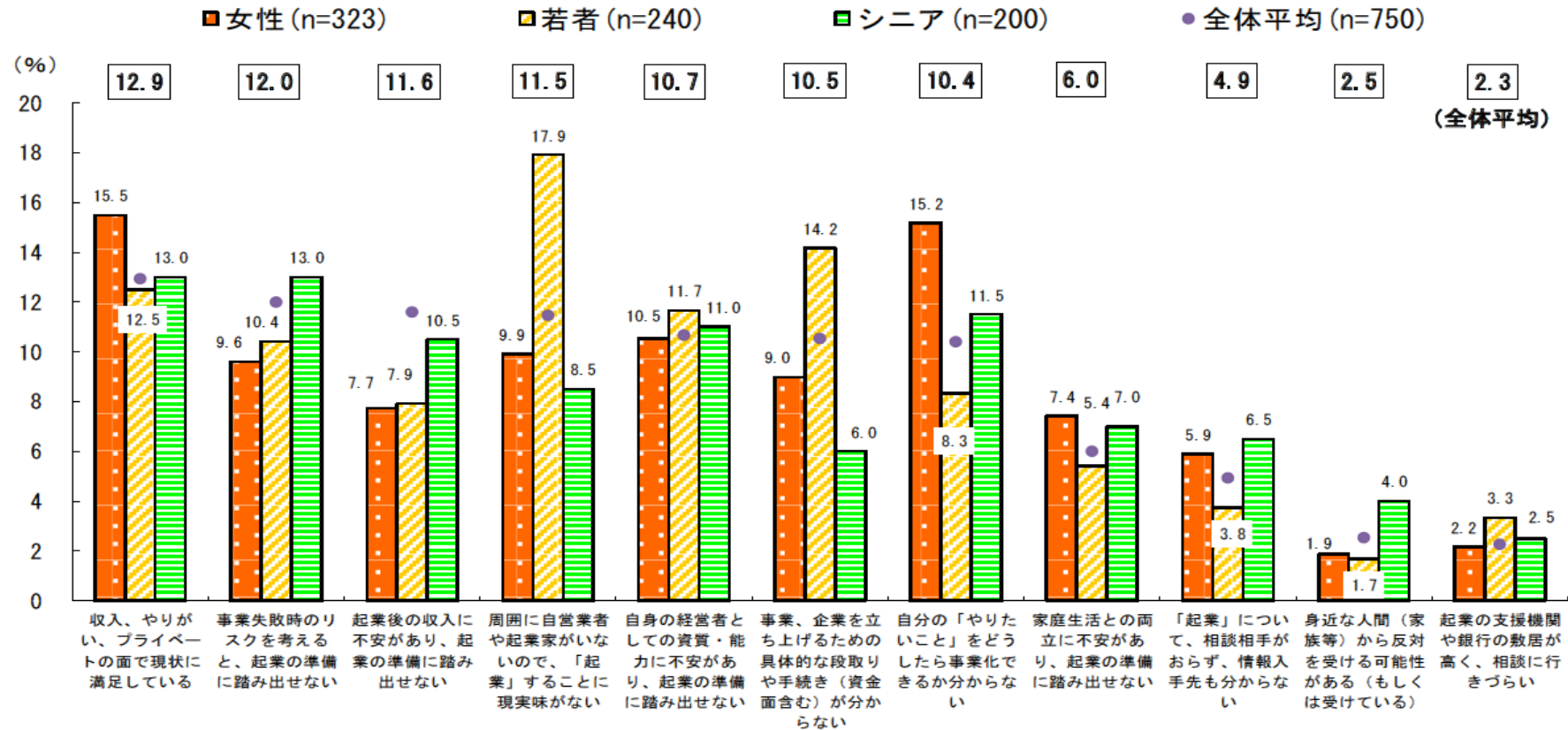


資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

(注) 各項目について、「起業前に感じており、起業後も感じている」、又は、「起業前は感じていたが、起業後にはそれほど感じていない」という回答を起業前に感じている不安として集計している。

● 起業に踏み切らない理由

全体としては、現状に満足している、事業失敗時のリスク不安が主な理由である。若者の特徴としては、周囲に起業家がおらず起業の現実味がない、具体的な段取りや手続きがわからないという理由を挙げるものの割合が多く、女性の特徴としては、自分のやりたいことをどうすれば事業化できるかわからないという理由を挙げるものの割合が多い。



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

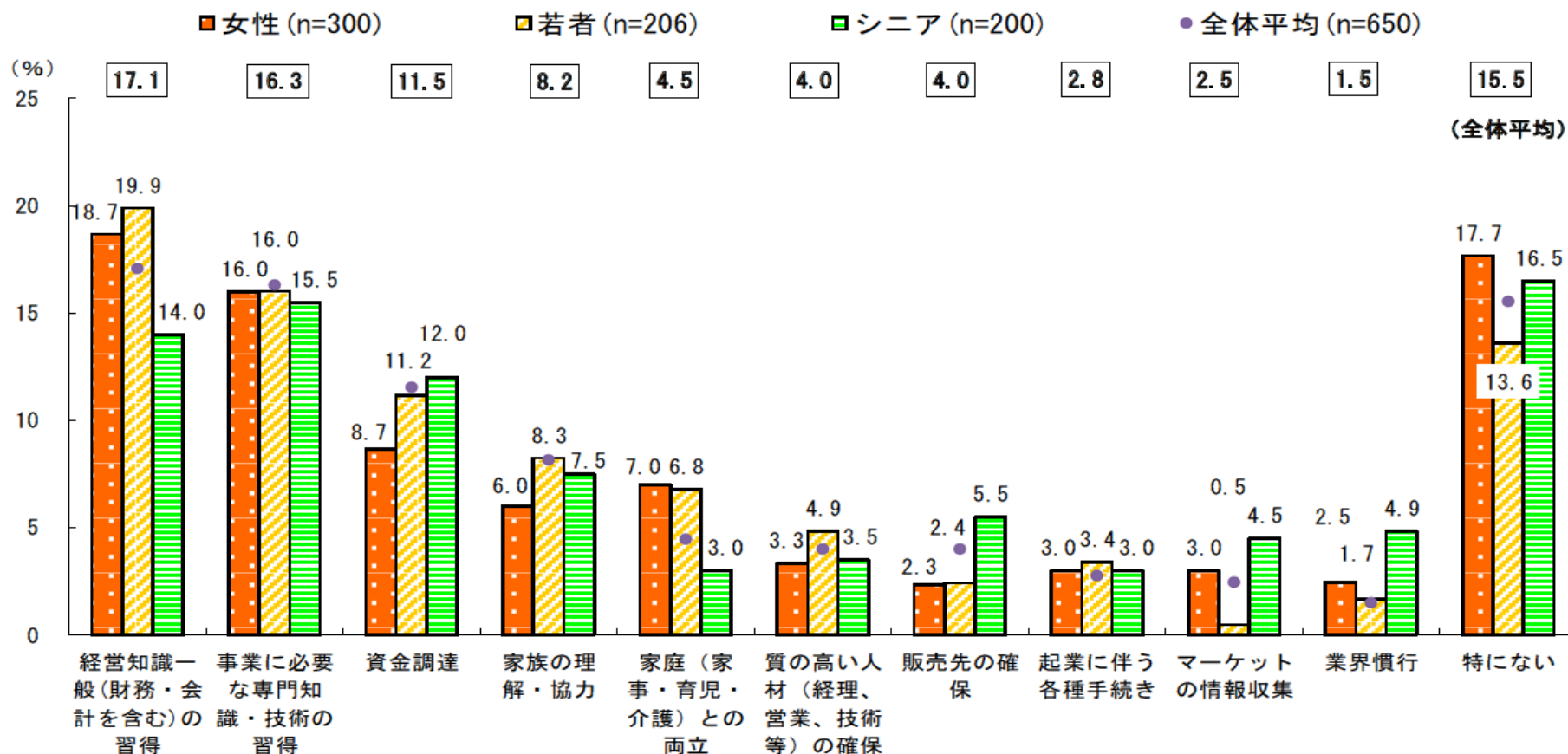
(注) 1. 潜在的起業希望者について集計している。

2. 起業の準備に踏み切らない理由について1位から3位を回答してもらった中で、1位として回答されたものを集計している。

3. 「その他」については表示していない。

●起業準備者が直面している課題

経営知識、事業に関する専門知識の習得、資金調達、家族の理解・協力などが課題となっている。



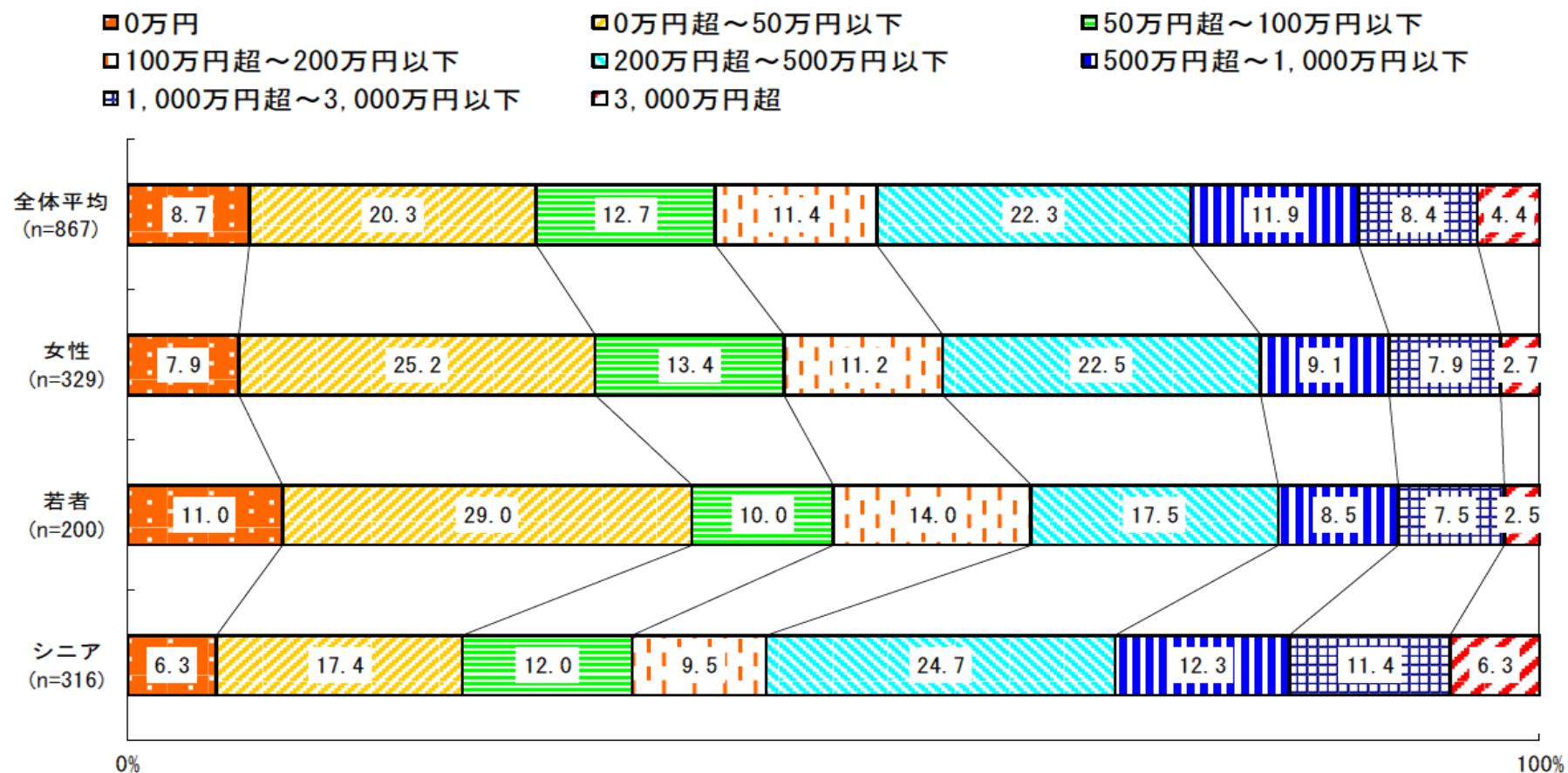
資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」(2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))

(注)1. 回答した割合が高い10項目及び「業界慣行」を表示している。

2. 起業準備者が直面している課題について1位から3位を回答してもらった中で、1位として回答されたものを集計している。

●起業にかかった費用

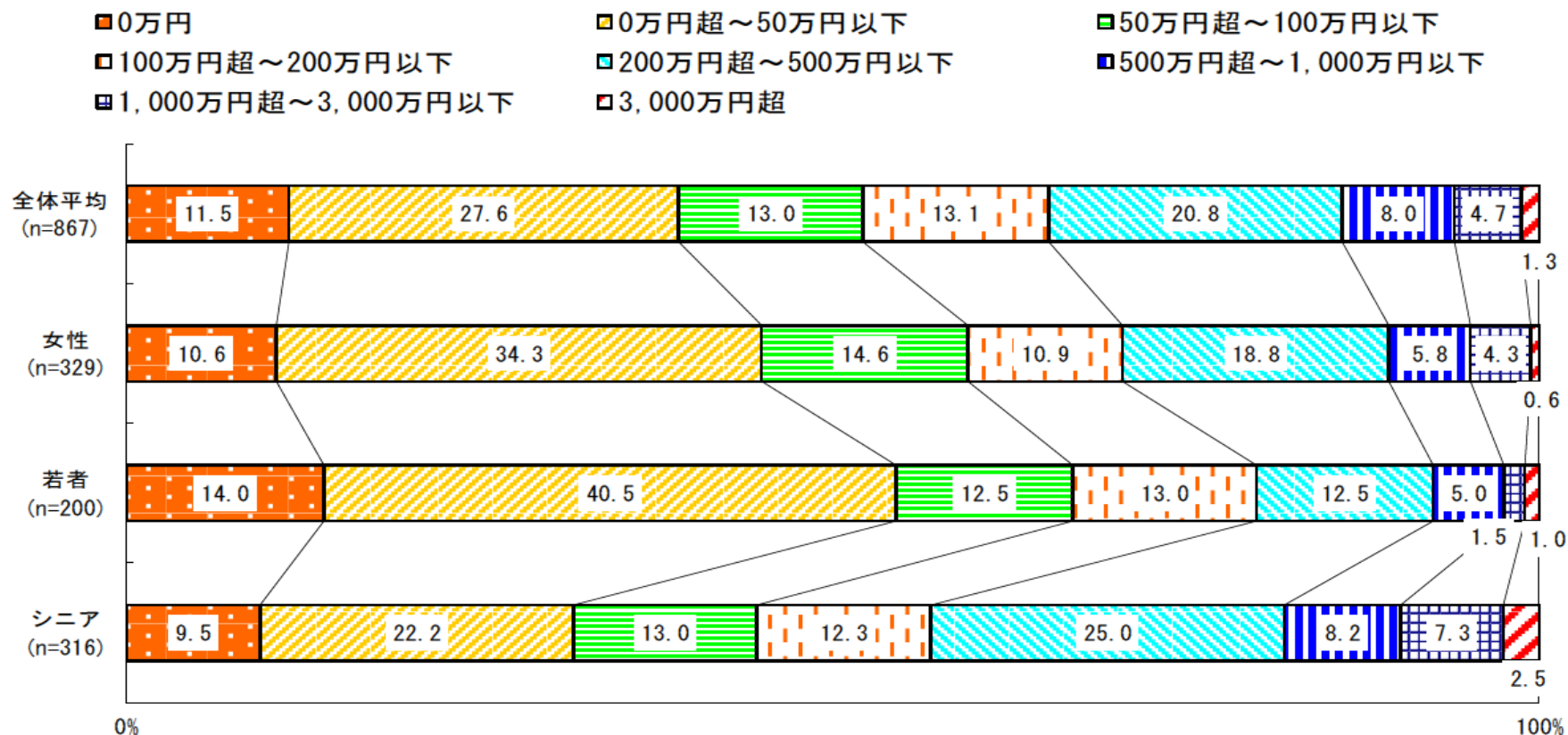
起業にかかった費用は0～50万、200～500万と回答する者が多い。シニアは女性や若者と比べて、高額な費用で起業する割合が高い。



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

●起業に費やした自己資金

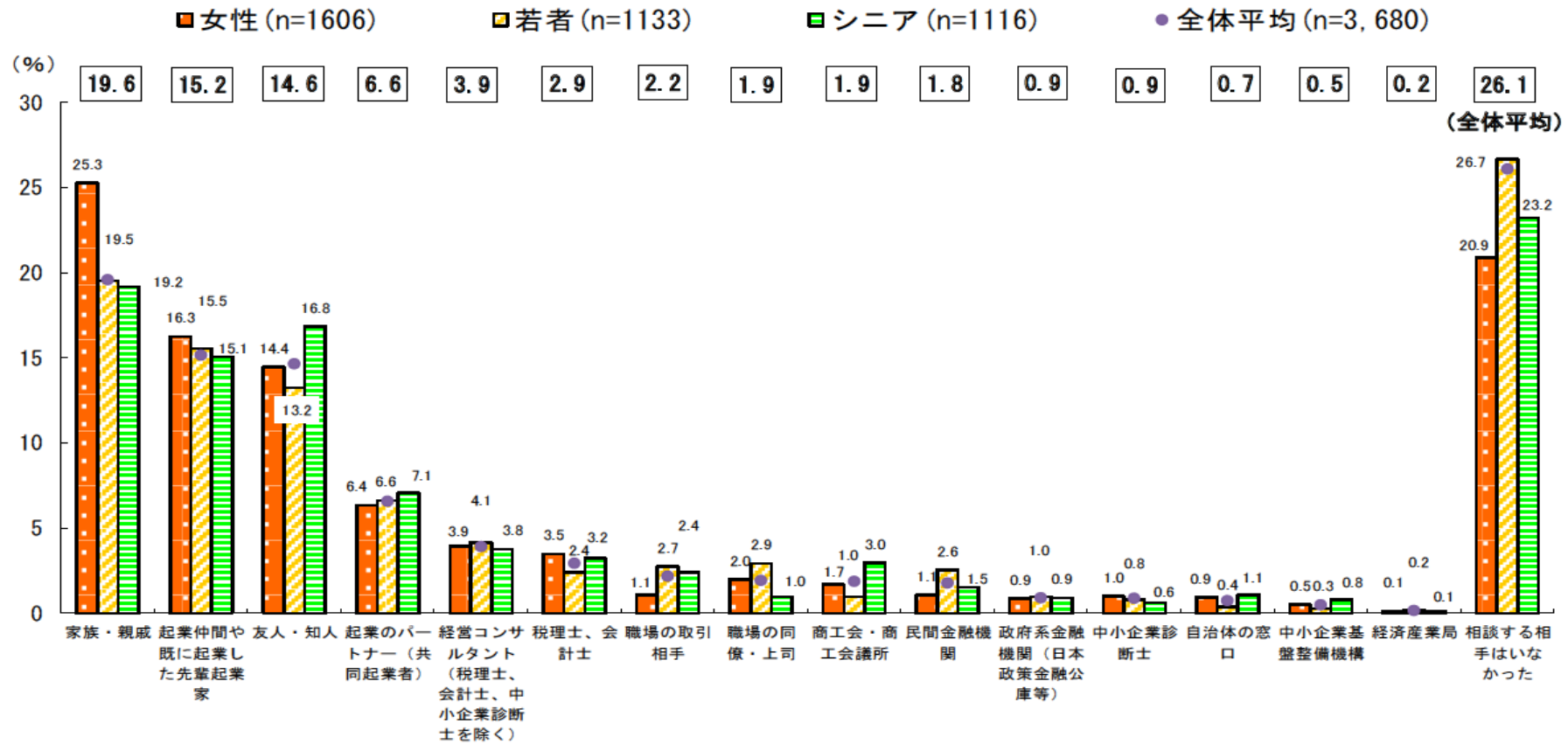
起業にかかった費用と同様の傾向がみられるが、シニアは若者や女性に比べて起業に費やす自己資金が多い。



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」(2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))

●起業に関する相談相手

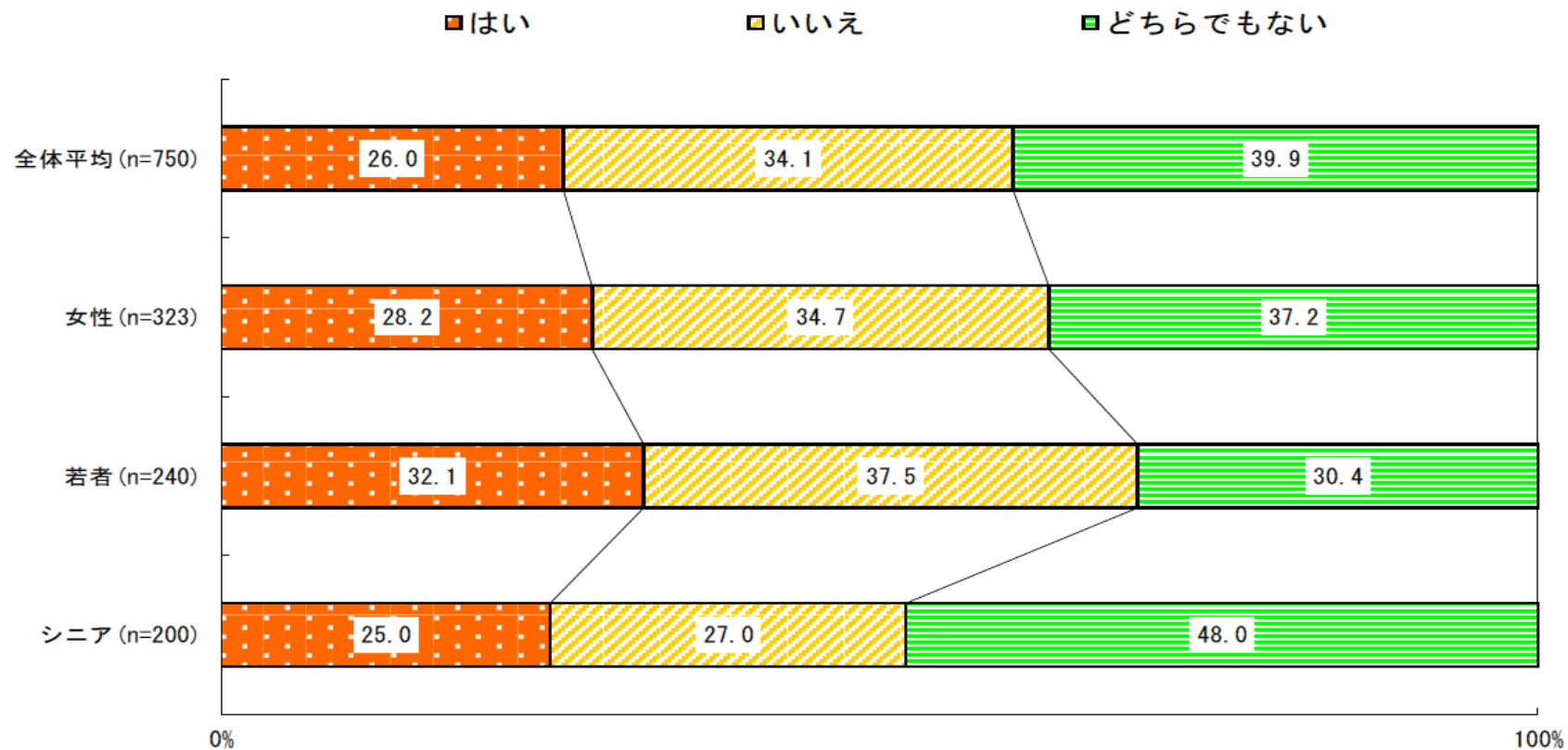
家族・親族、友人・知人、起業仲間といった、気心の知れた人を相談相手としているが、相談する相手がいない者も3割弱いる。



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）
 (注) 「その他」は表示していない。

●起業の相談をすることに抵抗を感じるか？

起業の相談をすることに約3割の人が抵抗を感じている。特に、若者が感じる割合が多くなっている。

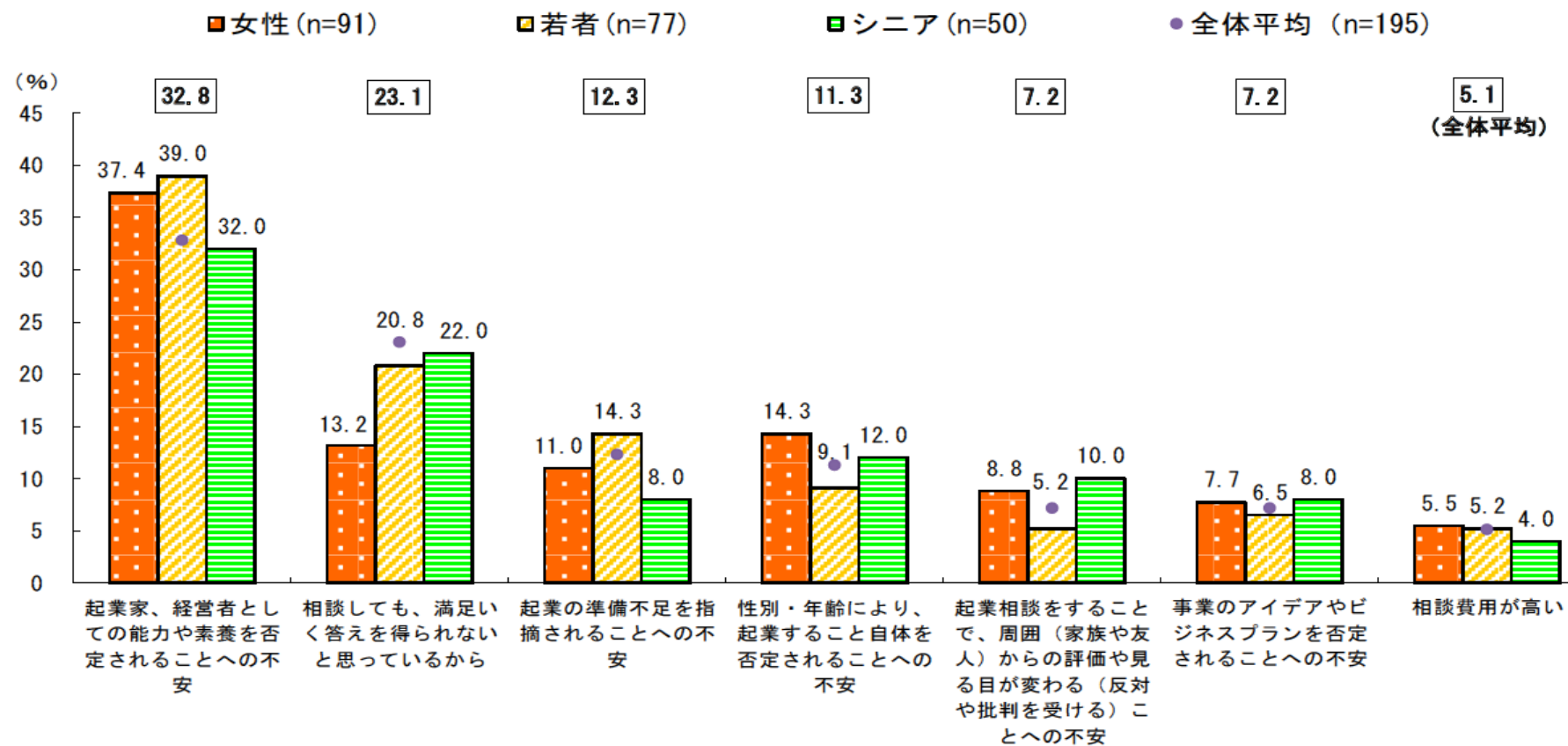


資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」(2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))

(注) 潜在的起業希望者に対する回答を集計している。

●起業に関して周囲に相談しにくい理由

起業家としての能力や素養を否定されることへの不安、相談しても満足いく答えを得られないと思っていることなどがあげられる。



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

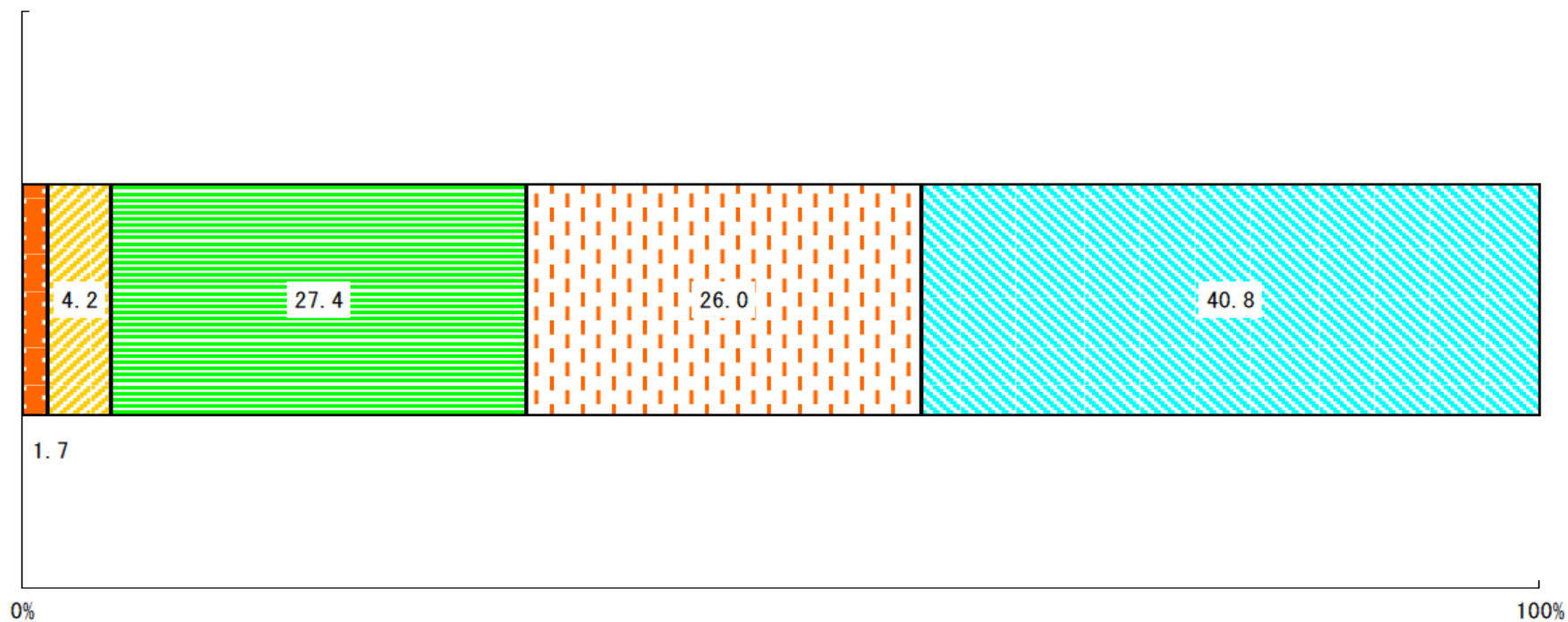
(注) 1. 起業に関して周囲に相談することに抵抗を感じている者(潜在的起業希望者)に対する回答を集計している。

2. 「その他」は表示していない。

●起業者教育は十分に行われているか

起業者教育が十分に行われているかということについては、不十分、やや不十分という人が約6割となっている。

■十分である ■概ね十分である ■どちらともいえない ■やや不十分である ■不十分である

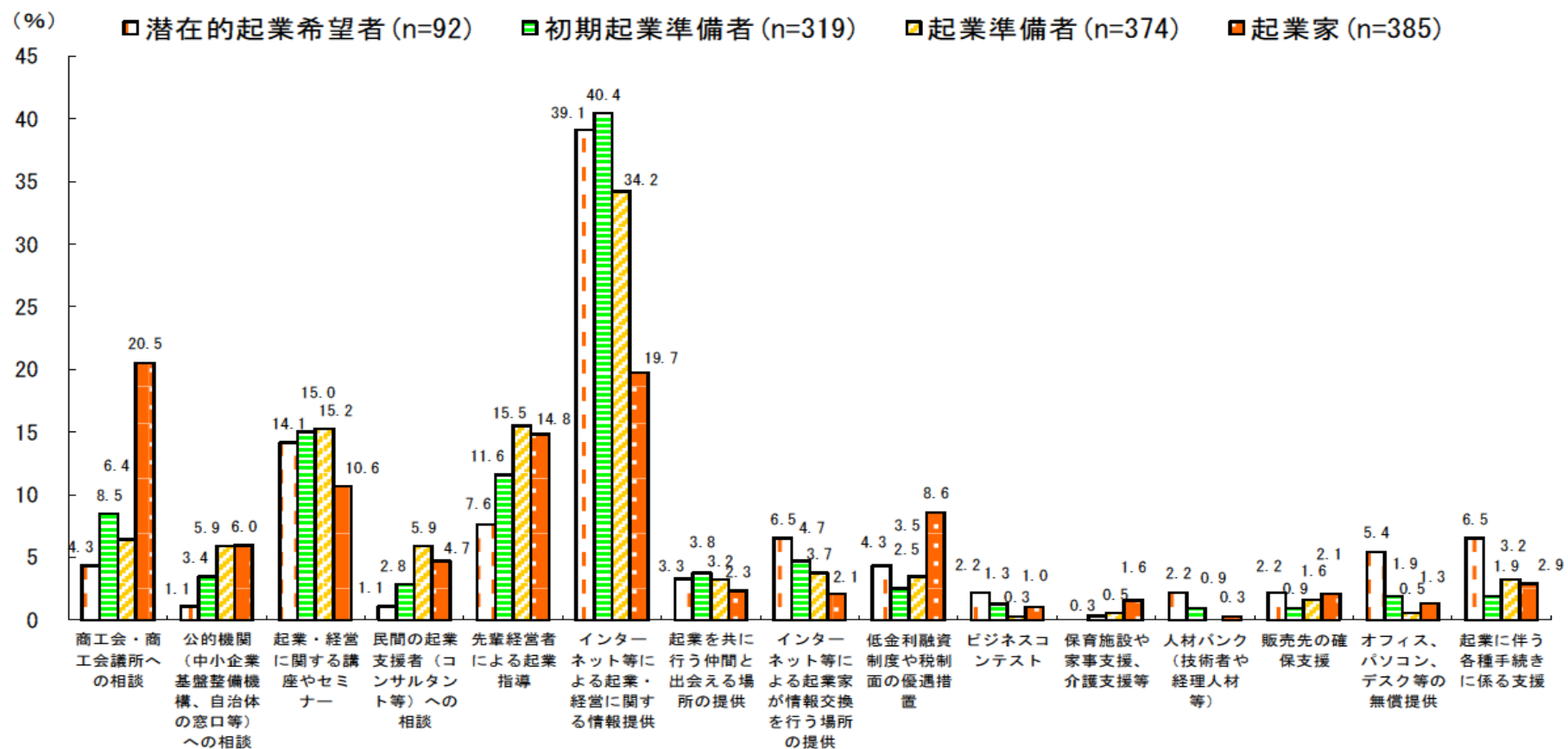


(n=3,680)

資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

●活用した支援策のなかで、もっとも満足度優先度が高いもの

まだ起業していない者にとっては、インターネット等による起業・経営に関する情報提供が満足度が高い。商工会・商工会議所への相談に対する満足度はすでに起業した者にとっては高いが、まだ起業していない者にとっては、それほど満足度は高くない。

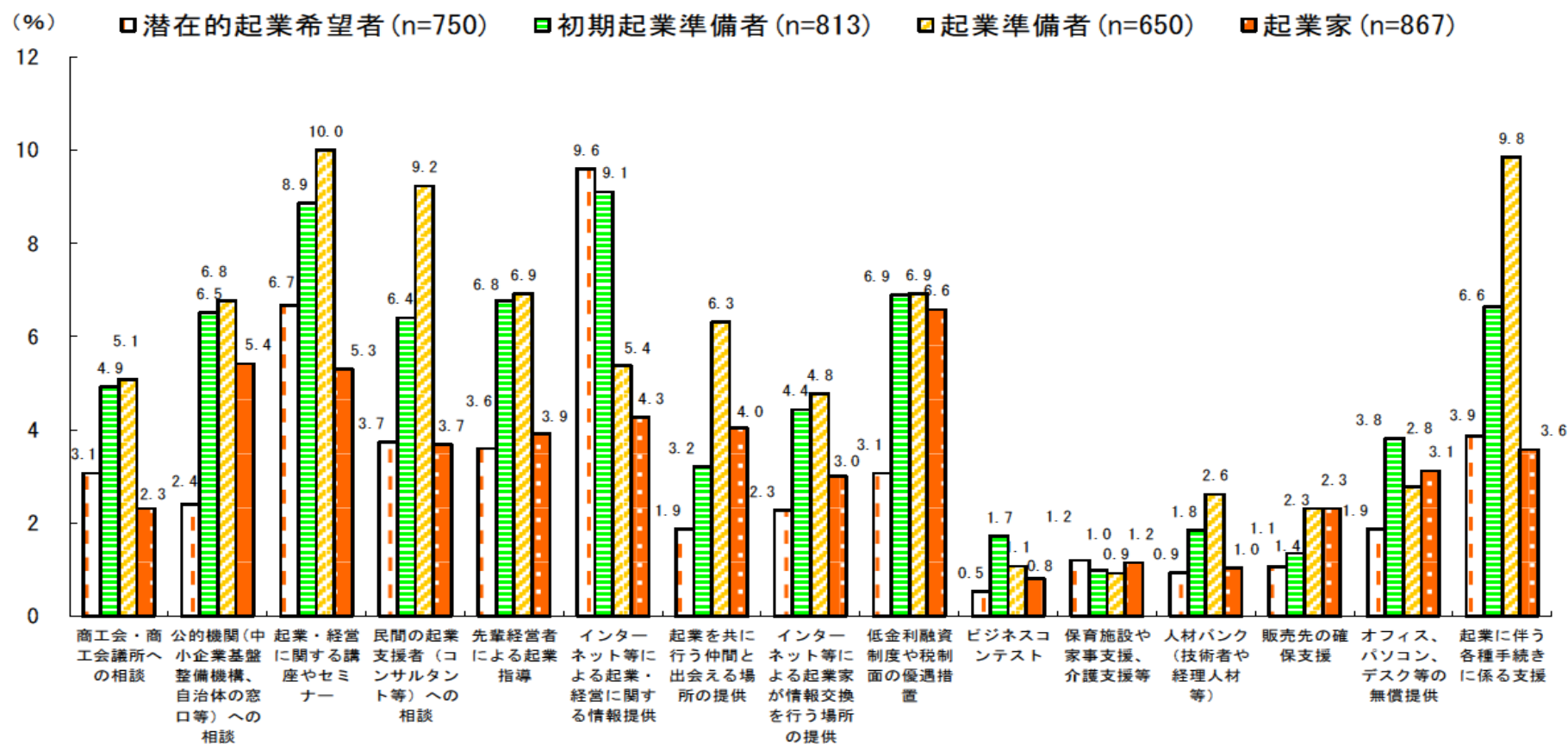


資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

(注) 「その他」については表示していない。

●今後活用したい支援策

起業に関する講座やセミナー、インターネット等による起業・経営に関する情報提供、情報交換の場の提供、融資・税制措置の優遇や各種手続きに関する支援を必要としている者が多い。また、商工会・商工会議所、公的機関、民間の企業支援者（コンサルタント等）への相談を希望する者も多い。



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」(2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))

(注) 「その他」、「特になし」については表示していない。

● 起業に関する課題についてのまとめ(主なもの)

I 起業に踏みきれない理由

- ・失敗することにより収入、生活が不安定になることへの不安
- ・起業する際の具体的な段取りや手続きがわからない
- ・アイデアをどうすれば事業化できるかわからない
- ・失敗したときのセーフティーネットが整備されていない
- ・失敗したときの再就職、収入の確保が難しい

II 起業の準備をする中で発生する課題

- ・資金調達
- ・起業に関する各種手続きが煩雑
- ・経営知識(財務、会計)の習得
- ・事業に必要な専門知識と技術の習得
- ・家族の理解、家庭との両立
- ・相談相手が少ない、相談することに抵抗がある

III 起業家、起業準備者が活用を望む支援策

- ・商工会、商工会議所への相談
- ・公的機関(中小機構、自治体等)への相談
- ・民間の企業支援者(コンサルタント等)への相談
- ・起業に関する講座やセミナー
- ・インターネット等による起業、経営に関する情報提供
- ・起業仲間と出会える場の提供
- ・低金利融資や税制優遇
- ・各種手続きに関する支援